



一般社団法人

関東沖縄経営者協会

Kanto Okinawa Management Association

会報
第20号

特大号

発行日 2021年6月15日
(1、4、7、10月発行)

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階
TEL 03-3525-8944
FAX 03-3525-8948 (4月から番号が変わりました)

URL <http://www.kanoki.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/kanoki.jp>



少しでも参考になることがあればと
思い、私たちの会社で試行錯誤しながら
現在取り組んでいることを記してみ
たいと思います。

株式会社オールビジネスリンクでもコ
ロナ禍の影響はかなりありました。

昨春、中国で未知のウィルスの感染
が広がり日本にも必ず上陸すると警笛
を鳴らすニュースを目の当たりにした
とき、何よりも先に実行したのは経営
資金の確保です。まず経営者である自
分自身の給与を大幅カットし、次に顧
問の方々の顧問料をカットしました。
事情を説明し経営が落ち着くまではと
無理を受け入れてもらいました。そして、
間髪入れずに経費削減の徹底です。
例外を設けずありとあらゆる経費の削
減に取り組みました。

そしてそれらと並行し金融機関への
交渉も素早く進めました。あらゆる事
態を想定し最大限の借入を獲得する
ために交渉しました。その結果、当面

みんなでピンチを乗り切ろう！ (オールビジネスリンクの場合) 新垣 進会長

新垣 進会長

ます。そのこともあり、このコロナ禍
の中でも売上の減少ほど利益そのもの
への影響は最小限に留めることができます。

は右往左往することがないだけのキャラクターを確保することができます。大事だとつくづく感じます。ピンチの時、売り上げの減少を食い止め、引き上げる努力はもちろん大事ですが、それに囚われすぎていけません。ぐつと我慢し、経費削減するなど内側に

目を向けることが大事です。この時、カギになるのは社内の参謀役です。そのような社員はいるか否か？

い堅実な会社に貸したいのが銀行の本音だったようです。

その他にも休業補償やコロナに関する各種助成金を最大限に活用し生き残りに掛けてきた一年でした。

さて当社は人材派遣会社です。主婦を中心としたパートの派遣を軸にしております。コロナ禍の少し前から人事の方針を改革し、自社内スタッフにもパート契約の社員を積極的に採用してきたことはこのコロナ禍においては本当にラッキーだったと思います。

そして現在の営業実績ですが売上自体は例に漏れず下がっています。なにですが、以前から利益率の改善を図ってきた結果、例えば30パーセント以上を確保する取引先については、5年前は7社のみだったのに対し、今は120社（取引会社160社中）を超えてい



毎日の営業部の朝礼

何人いるか？それにより明暗が分かれます。ワシマン経営の企業は順調な時は良いのですが、劣勢に陥った時には非常にもろくなります。参謀でなくともしっかりと中堅のリーダーがいる会社は、非常時にこそ二枚腰三枚腰となりしぶとい強さを發揮します。簡単には倒れたりしません。

この未曾有のコロナ禍で生き残る企業とそうでない企業の違いについて思うのは、生き残れる企業はその前から堅実に黒字経営を維持している会社で、経営のアップダウンの激しい会社はコロナ禍のような衝撃には耐えるのは難しいでしょう。安定した黒字経営は、通帳には記載されていない“信用”という別の貯金がたまり武器になりますから。

当社の経営の体質についてですが、これまで私は、私の意志として人との交流を大事にしたい考え方から交際の機会を多く設け接待費・交際費はそれ相応にかかるていました。少しずつ肉のついた経営だったと言えるでしょう。しかしこの事態に直面し、そのゼイ肉を可能な限りそぎ落すことにしました。経営だけではありません。私自身のゼイ肉も取り除きそ

うな形であっても「今、この時だ！」という際に経営者が強い意志を發揮し何かを成し遂げることは社員の士気に影響を与えるので、それは大事なことだと自負しています。

そしてこれらの時代について、私の好きな言葉に「所懸命」というのがあります。「一か所に留まり命を懸けて守り通す」という意味になりますが、これから経営は、1企業が1業種に縛られる時代は終焉を迎え、大リーグ・エンゼルスの大谷選手ではありませんが、二刀流が求められるようになると考えています。1企業でも2業種以上の柱をもつように変わっていくということです。片方の事業がピンチに陥つても、もう一方で支えることができ、それにより経営リスクを軽減することができるからです。このコロナ禍で飲食店がテイクアウトに乗り出したとの話はよく聞きますが、とてもよい例だと思います。当社でももう一つの柱（事業）を色々模索しました。マクドナルドのフランチャイズも考えたのですが残念ながら事業部制ではできないとのことで断念、思考錯誤の末、行き着いたのが外国人の人材ビジネスです。この事業は当社の国井営業本部長が企画したもので、国井営業本部長の幅広い人脈により10年以上も外国人ビジネスを第一線で活躍してきた新メンバーを加えることができ順調にスタートを切っています。



幹部のリーダー会議

担を負うことになると思います。

コロナ禍を経て働き方が変わろうとしている今、一番怖いのは自分の会社が行き詰っている理由、その敗因を追求せず、全てコロナのせいにすること。そのような経営者は今回の試練を生かせず今後の成長も望めないのでしょうか。

関東沖縄経営者協会としては、コロナが終息した後は、会員の会社が回復の方向にいけるよう全理事で考えていくこうと思います。

二度あることは三度あると言いますので再度未曾有の事態に見舞われたとき、その時はしっかり持ちこたえられるよう資金力を鍛えることが大事で、これからもそのことを強く訴えていきたいと思います。

イラスト：あさとみなみ

左：国井営業本部長、右：大城財務本部長

「SOGI-ハラ」って どう存じですか？

理事 新垣 韶也（弁護士）

突然ですが皆様「SOGIハラスメント」（ソジハラスメント・ソギハラスメント）という言葉を存じですか？

「SOGI」とは、「Sexual Orientation and Gender Identity」の略称で、日本語に訳すと「性的指向及び性自認」という言葉になります。

「性的指向」とは、自身がどの性の人に対する感情を抱くかという感情の指向性のことを言い、「男性として女性が好き」、「女性として男性が好き」というだけでなく、「男性として男性が好き」、「女性として女性が好き」ということもありますし、「男性、女性どちらも好き」ということもあります。

また、「性自認」とは、自身がどの性に属しているかという認識のことを言い、例えば肉体的な性別は男性だけど、心の性は女性という場合は、性自認は「女性」ということになります。一方、「SOGI」という言葉は、前記からもわかるとおり、昨今よく話題となる「LGBT」と密接に関連してきます。

「LGBT」とは、Lesbian（レズビアン、女性同性愛者）、Gay（ゲイ、男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル、両性愛者）、Transgender（トランジエンダー、性別越境者）の頭文字をとった単語です。セクシュアル・マイノリティ（性的

少數者）を総称した言葉です。

このうち、Transgender（トランジエンダー、性別越境者）について補足しますと、トランジエンダーとは、肉体的な性と心の性に不一致が生じていることを指します。

以上、長々と言葉の説明をしてきましたが、ここからが本題です。「SOGI-ハラ」とは、個々人の「性的指向及び性自認」を理由として差別的な言動や待遇を行うことを指し、いわゆるセクハラ、パワハラと同様にハラスメントの一種とされ、大企業や自治体を対象に2020年6月に施行された「パワハラ防止法」の規制対象にもなっています（中小企業に対しては2022年4月から施行されます）。

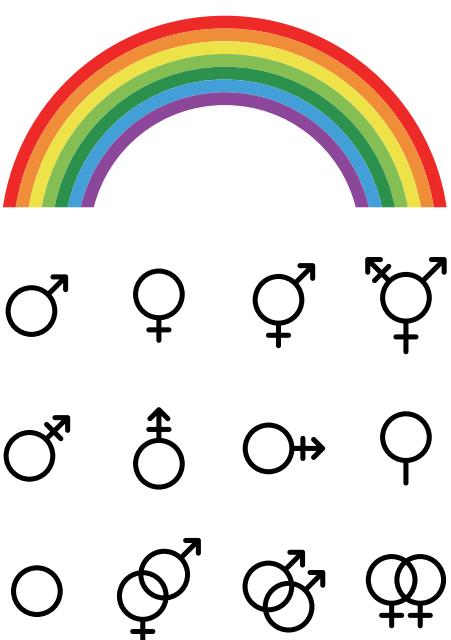
具体的には以下のようない行為が「SOGI-ハラ」になると言われています。

①LGBTであること理由とする差別的な言動、不当な待遇

LGBTであることを馬鹿にするような言動はもちろん、「LGBTは病気だ」「LGBTは生産性に欠ける」といった発言も「SOGI-ハラ」となり得ます。また、LGBTを理由として昇進を妨げるなどの不利益的な待遇をすることも当然ご法度です。

②望まない性別に即した生活様式の強要

さきほど説明したトランジエンダー、あるいは「女性っぽい男性」や「男性っぽい女性」に対して、「男らしく振舞うこと」あるいは「女らしく振舞うこと」を強要することは許されません。



③アウェーティング

アウェーティングとは「本人の許可なく同人の性的指向及び性自認を公表すること」を言います。LGBTを差別することはもちろん許されませんが、現実問題、世の中にはLGBTに対する差別が未だ厳然として存在し、それ故に自身がLGBTであることを公言せず、秘密にして生活している方が多数います。

そのため、本人の許可を得ることなく性的指向、性的自認を明らかにする」とは「SOGI-ハラ」に該当します。

世の中には、上司と部下、先輩と後輩、あるいは同僚同士などなど、様々な人間関係がありますが、昔と今とでは求められる人間関係の在り方、適切とされる人間同士の距離感は異なります。

年を取るとありがちですが、昔ながらの価値観、判断基準で人と接して「○○ハラ」と指摘されることのないよう注意しましょう。

第31期かりゆし塾 (官民交流型人材育成研修)に参加して

準会員　國吉亮治
(東京海上日動あんしん生命保険(株))



國吉 亮治氏

この度、一般社団法人沖縄県経営者協会主催の本研修に参加してきました。『仲間と学ぶ 地域づくり』～官民の交流で地域ネットワークの構築を～という狙いに、大変興味を持ち、どういうものかを体感したく、全6回の講義形式に参加しました。

本来の趣旨は、協会内の企業を中心に会社から派遣するという形のものなので、私の個人的に参加した方はいませんでした。当初不安はありました。参加してみて不安はすぐ払拭されました。今回は約60名の参加があり、7～8名のグループを最初に7つに分ける形で始まりました。参加者のカラーに合わせて、それぞれの特色を活かせる様に配慮あるグループ分けがなされました。

主な概要＆目的ですが、毎回のセッションが、講義、グループ討議、懇親、プレゼンという流れです。つまり、ほとんどの時間がグループでの話し合い、アイデア出し等とても研鑽的な場として、参加するだけでも刺激になるとてもいい場でした。



卒業証書

レポート集

- ①官民参加型ゆえ幅広いネットワーク構築
- ②異業種交流型ゆえ多角的な視野を獲得
- ③グループ活動を通して組織に必要なマネジメントスキルの習得
- ④地域に根差した活動を実践できるリーダーの養成

仕事をしていく上で必要なスキルを、現場で習得する事のできる研修だったと強く思いました。最終的には、7つのグループで地域資源を見出し、それを活性化に繋げるグループワークを通じて、競い合う形で卒業を迎えたのですが、ウチナーンチュでありながら全然知らない事が、ある事に気づかされた事も大きな収穫では、半年間をかけて塾を『卒業』した形になりますが、1つのものをグループに分かれて作り上げる、というミッショントを据えて取り組む活動は本当に素晴らしいものでした。特に1人だけで取り組むのではなく、組織における大切なマネジメントを、役割分担や適材適所としてみんなでしっかりと考えていく、それが普段必要なスキルと直結しているものだと実感しました。そして、何をしたいかを考えてみた。それが普段必要なスキルと直結しているものだと実感しました。その後、何をするかを考え、それをより沖縄の発展に寄与する、1つの活性化プランを作り上げる作業は、日頃気にもとめない事への気付きや、異業種間の新



名刺入れ

鮮な発想・アイデアが生まれる事で、大変有意義なものとなりました。1企業・組織から1名から2名ほどの派遣で、組織から求められている人材だからこそ、参加している皆は何かを得ようという非常に意識の高い集団であった事も有意義な1つの要因だったと思います。組織が活性化する1つの手段としても有効です。今回の研修は今までにない、コロナ禍という事も重なり「全てが初めて」という試みばかりでしたし、県外からの参加も今回私が初めてだそうです。主催者側も貴重な体験ができ、今後に活かす部分も多くあつたとの事でしたが、創意工夫の下で前例のない事を遂げたという事も1つの自信となり受け継がれていくと思います。今回は31回目という事ですが、今までの参加した方々は総勢約150名にもなるそうです。既に引退された方も現在現役バリバリの方もいて、その方々を集めた大同窓会もコロナが落ち着いた頃予定しているとの事。これは沖縄にとっても『人財育成』として、人との繋がりや、いいものを継承していく上での貴重な機会になると今から楽しみです。(同窓会の証である名刺入れのプレゼントもありました(写真))今回の経験を活かし今後は更に地元への貢献を果たしていく様精進していくたいと思います。最後に、こういう機会を与えて頂いた関東沖縄経営者協会に感謝の意をお伝えします。貴重な体験をありがとうございました。

皆様も、常にアンテナ張って、本協会を活用頂ける事を願っております。

みなさん 書いてみませんか？2

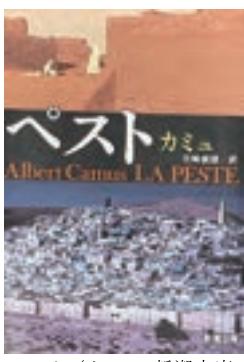
広報委員長 根間 桂至

15日現在)

前回の会報で「みなさん書いてみませんか？」とお願いした所、ありがたいことに書いてください方が現れてくれました！！ありがとうございます。感謝、感謝です！そこで、また調子に乗つてお願いしたいと思います！それでは行きます。

フランスの哲学者アランの言葉に「悲観主義は気分により、楽観主義は意志による」というのがあります。日々伝えられる感染者数や死者数が単なる数字ではないという事を思うと、そう考える必要があるのかと思いますが、反面、仕事や生活をしていくためにその「意志」を働かせようとも思います。それで、国内の状況だけではなく、世界に目を向けてみるとその様子は様々ありました。

インドのようにものすごく大変なところもありますが、アメリカでは、当初感染の中心のよう伝えられていたニューヨークではリモートワークだった市の職員が出勤するようになつていつとか、ヨーロッパの一部の国でもワクチン接種が進んでロックダウン等が緩和されているようですが少しづつ進んでいる所もあるようです。（5月



ペスト／カミュ 新潮文庫

職務を果たすことにだと心得ています。「などは現在我々が直面している状況下でどのように過ごしていけばいいかを示

（私）はスゴイ！」って思えるものになるのではないかと思いました！（もちろん、感染しないようにした上でのことですが）。そういう時に、アルベル・カミュの書いた『ペスト』を思い出しました。

「この『記録』の主題をなす奇異な事件は…」から始まる小説は、「ペスト」発生から終息までの「記録」を綴った物語です。不条理文学の傑作と言われる有名な本なので読んだ方もいらっしゃると思いますが、この状況下で読むとまた違つた感覚を覚えます。

1947年に出版されて70年以上経ちますが、日々の感染者、増えて行く死者、感染リスクと闘いながらの医療現場、暴動が起ころる街の様子等、現在世界中が置かれている状況になります。世の中の不条理を描いたもので感染症についてと言ふことではないと思いますが、そこに書かれている「…ペストと闘う唯一の方法は誠実さと言うことです。」…自分の

しているように感じます。

最後は「…ペスト菌は決して死ぬことも消滅することもない…」で終わっています。「世の中の不条理は…」と言う事だと思いますが、実際の細菌、ウイルスについても同じように立つのではないか？後で振り返つてみて「あの時はがんばつていた！」とか「きつかったけど俺（私）はスゴイ！」って思えるものになるのではないかと思いました！（もちろん、感染しないようにした上でのことですが）。そういう時に、アルベル・カミュの書いた『ペスト』を思い出しました。

今回の新型コロナウィルスの終息の具体的な時期は分かりませんが、その空気が出始めると、人、事、物が徐々に動き出して来ると思います。それまでは STAY SAFE, STAY HEALTHY, STAY STRONGです。

今、この停滞している時期に焦りや不安を感じている方が多くいると聞きます。自分自身も今は「易經」で言う所の「潜龍」の時かも知れないと思うようにしています。動くのではなくて根を張り、力を蓄える時。そして、終息が近づいていたら、時期を見極めて一気に「飛龍」になる！そんな時かも思っています!!（なれたらいいな）そこで繰り返しになりますが、この時期のみんなの「記録」ということを考えました。

例え、「今ここを耐え忍ぶ考え方」、「現在の日常」、「移動しづらい状況で何を考えているか？」、「日々の仕事での心構え」「日々の生活では何を心がけているか？」「ピンチをチャンスにえたぜ！」などなど…。こう言う状況下ではそれが仕事、日常生活で何気なくやつてあることや、自分なりに行つて创意工夫が他の

誰かの役に立つかもしれません！どうぞあと一年？（そう思つて…）これまでとこれから記録を残してみませんか？きっとだれかの役に立つと思います！

それは今の時代を生きる我々はもちろん、未来の誰かかもしません。ぜひ是非皆さん日々の「記録」をお寄せください！よろしくお願ひします。

最後にもうひとつアランの言葉を

「…雨降りの時こそ晴々とした顔が見たいものだ：」なかなか難しいですが…、ではでは、原稿お待ちしております。ありがとうございます。ありがとうございま

※書いてみてもいいと思ってくださった方、根
間、または新垣会長、山川事務局長、8ペー
ジ下の委員の方々へお問い合わせください！
ありがとうございました。



異界移住研究パワー 野入准教授との出会い

「場所には行け！人には会え！」の我がライフモットーがコロナ蔓延により封鎖されている昨今、連日神田オフィス、自宅ベットで我が伝記ともいべき『沖縄——奄美の境界変動と人の移動

引揚時到着した長崎県佐世保まで詣ねた調査行動力には驚嘆させられました。父の満州渡航と満鉄勤務、母の近江絹糸就職、加計呂麻島、須子茂の鰹漁業史、満宝丸の歴史記述には、思わず涙が出ました。

本書に結実しました。2008年の出会い以来、東京の神田オフィスで、沖縄出張の際も何度もインタビューを受けましたが、最も驚いたのは2016年、東京板橋の帝京大学で開催された「癌シンポジウム」での私の講演に大学授業と多忙な最中、沖縄から日帰りで上京されたことです。また私の過去の執筆やブログをレビューの上、東京、奄美、大阪を訪ね、OB社員、伯母従妹、中学後輩等々10人以上と面談し、私が大連から引揚時到着した長崎県佐世保まで訪ねた調査行

は何処から来るのか？

ひたすら文献歴史資料埋没の研究姿勢を超え、大学勤務の一方、アメラジアンスクール副理事のボランティア活動、学会講師と頻繁な本土主張、京都育ちながら異界沖縄への移住、東北で医師をなさるご主人との間を東西奔走と自らの多角的空間移動あらばこそ、この多角的俯瞰の作品を生んだのでは！傘寿を過ぎ余命幾ばくもない我が生涯を回顧・追憶する標との僥倖の出会いです。



○委員会報告

- ・総務＝第55期総会日程決定。2021年7月27日(火)、日本教育会館喜山俱楽部、リアル＆オンラインのハイブリッド開催。
- ・会員増強＝4月25日ゴルフコンペ開催報告。
- ・広報＝HPの過去セミナー掲載は喜屋武靖氏に相談。

○事務局報告

- ・沖縄県経営者協会「かりゆし塾」参加理事募集。5月25日沖縄県経営者協会「経営懇話会」小泉ケイ子理事が出席。
- 会員情報＝沖縄ツーリスト「ウイルスエンドV」「首里城復興SDGsバッチ」発売開始。
- 伊良皆高吉背先生作詞作曲「首里城の歌」発売開始。

【新里基金活用月刊オキナワグラフ連載】
会員紹介＝11月号 東風平高根、12月号
座安雄照、1月号 池村昌彦、2月号
河合良一、3月号 板倉俊輔、4月号 伊良皆高吉、5月号 小泉ケイ子、6月号
國吉亮治

【新里基金活用かわさきFM】番組「琉球リミテッド」会員出演＝11月映画「だからよー鶴見」告知、12月 大城朝夫、1月 重田辰弥、2月 大得健一、3月 新城秀人、4月 27日 國吉亮治、5月 オーレビジネスリンク YOUTUBE「movies 恋の島 factory」からアーカイブ視聴できます。



ゆいまーる広場



新入会員紹介

ノベーション工事・賃料UP等による資産価値を

上げるためのコンサルタント業務)

○リゾート物件有効活用

(沖縄の不動産有効活用等のコンサルタント業務)

○売買仲介事業(東京都・沖縄県の物件の売買仲介業務)

【入会の経緯】
 港区南青山で不動産業を営んでいる有限会社結ゆいまーるの金田社長から、関東沖縄経営者協会の新垣会長をご紹介いただきました。当社はお客様の不動産に対する思いを丁寧にうかがまして、入会いたしました。

当社はお客様の不動産にい、最適解を見出し、解決まで共に歩みます。道徳経済合の精神で、不動産事業を通じて地域の経済活性化に貢献し、地域に関わる方々の心地よい居場所を創つていきます。皆様、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

会社概要 ランヴォール株式会社
 代表取締役 新城 秀人
 設立 令和2年3月4日
 住所 東京都渋谷区神宮前3-13-13
 連絡先
 TEL: 03-6804-1115
 FAX: 03-6804-1199
 ホームページ
<https://www.lenvol-company.com/>
 出身地 沖縄県宮古島市
 出身校 宮古高校 東海大学
 事業内容 ○都市再開発事業(商業系地
 域・住居系地域の高度利用・リ

一般社団法人関東沖縄経営者協会会報

発行日 2021年6月15日発行 通巻第20号特大号
 発行 一般社団法人関東沖縄経営者協会
 発行人 新垣 進

広報委員会 委員長：根間柾至 副委員長：山城真志

委員：豊島律子、新垣進、近藤ゆうな、新垣卓也、金城敦、島袋健一、三宅千晶、池村昌彦、山川夏子
 住所 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6 田中ビル別館6階 TEL:03-3525-8944 FAX:03-3525-8948
 E-mail info@kanoki.jp URL www.kanoki.jp Facebook <https://www.facebook.com/kanoki.jp>

デザイン・印刷 (株)ドルフィンズ
 編集 広報委員長 根間 柾至



新規会員を募集しております。ご希望の方、ご連絡をお待ちしております!